

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年12月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600214
法人名	有限会社 精祥
事業所名	グループホーム はまゆう
所在地	鹿児島県阿久根市脇本6778番地39 (電話) 0996-75-1122
自己評価作成日	令和5年9月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年11月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナ禍において、外部との交流や外出も制限を設けていますが新たな企画を立案し状況に合わせて行事も行っています。面会は一部緩和し対面面会を実施しております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、2ユニットを1つの事業所として運営し、利用者全員を職員全員で支援している。職員全体のコミュニケーションが良好で職員間の協力関係が築かれている。
- ・コロナ禍のため地域行事への参加や運営推進会議の対面開催は見合わせているが、中学校運動会を見物して地域住民と交流したり、中学生の職場体験や看護学生の実習受け入れに取り組み、近隣住民や地域の方から野菜や魚の差入れがあるなど、地域とのかかわりを大切にしている。
- ・家族や友人との対面面会を6月から風除室で実施するようになり、本人や家族の精神的安定が図られている。看取り期における居室面会や泊りもできる等、利用者と家族の安心や繋がりの継続にも配慮している。
- ・管理者は、休憩時間の確保を図ったり、職員の個々の事情に配慮した休暇取得を他の職員の協力も得て行う等、皆が安心して働きつづけられる職場環境作りに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼にて唱和行い、意識付けを行っている。	地域密着型の理念を運営規程に掲げ、事務所や玄関に掲示している。申し送り時に唱和して理念の意識付けを図り、各会議時にはケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍で、外部交流は控えている。	町内会に加入し行事等の情報は得ているが、中学校運動会見物以外はコロナ禍のため参加は自粛している。中学生の職場体験や看護学生の実習受け入れ及び、地域住民からの野菜・魚の差入れは継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方からの相談は、随時受け付けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で、運営推進会議もレジュメ配布のみとしており、その中で様々な報告を行っている。	コロナ禍のため運営推進会議は資料配布のみを行っている。各委員との意見交換は電話で実施しており、事業所の行事の取り組みに対する好評の意見がある。地域行事や開花状況等の情報を得る機会になっており、外出等の行事計画に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	その都度報告・相談を行っている。	窓口に出向いて、市の担当者に運営推進会議資料を手渡し説明と意見交換を実施したり、報告・相談を行って連携を図っている。市のリモート会議に合わせた研修会等に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	委員会をはじめ、学習会でも理解を深めており、現在も拘束なしで推移している。	指針を作成しており、法人で委員会を毎月、学習会は年2回実施し、拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉遣いでも不適切な場合は会議で取り上げ注意を促している。玄関の施錠はせず外に出ていく利用者には風除室で話したり散歩に同行する等、行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間予定に基づいて内部では定期的に学習会を実施。不定期ではあるものの外部でのWeb研修も実施。身体観察に努め、少しの異常でも情報を共有し原因究明に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者が主となり研修等で学び、資料を活用し職員が閲覧できるように行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>毎回、その都度説明を行い、同意を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議資料配布時に返信用封筒と同時にお手紙での意見交換や、その都度のお電話での意見、風除室への意見箱も行い機会を設け、取り入れている。</p>	<p>会話の中で本人の希望を聞き、ゲーム大会や散歩・毎月の料理教室の実施や誕生日・行事食に好物を取り入れる等に取り組んでいる。家族には面会や電話時に要望等を聞き、その都度個別に対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の部署会議や個人面談等を行い、意見や提案を頂いて取り入れている。</p>	<p>管理者は、毎月の部署会議や年1回の個人面談で職員の意見を聞く機会を設けている。備品購入やケアの統一等の意見はその都度受けて対応している。必要時に管理者から声をかけて話を聞いたり、個別相談を受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人評価表を年に一回提出して頂き、希望する研修や、意見等反映出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修・中堅研修・Web研修等を行い、スキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会・外部研修等を通して交流を行い取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に生活歴をお聞きし、大切な物・好みをお聞きして、話しやすい環境を作り、より多くの情報を引き出せるようにして努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の入所される方への思いや要望の聞き取りをし、一緒に本人の望む生活が出来るようにし、その都度心境の変化にも対応出来る様に話し合いにて進めるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個々のアセスメント（生活動作・生活歴・習慣・病歴等）を見極め、課題に対し必要サービスが提供出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理の下ごしらえ、食後の片付けや、洗濯物たたみ等一緒に行い、寄り添いを大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族へ、定期的なお便り郵送や本人が望まれる時、可能な限り面会や電話で声を聞いて頂ける様に行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ禍もあり、不定期ではあるものの、ドライブ企画の中で馴染みのある場所へ立ち寄りたり、お手紙や写真を手に取り読み支援行い、関係が継続出来る様に努めている。</p>	<p>家族・友人との対面面会や電話を支援しており、事業所からは「はまゆう」と写真での近況報告を年3回送付し、家族等とのつながりが途切れないよう取り組んでいる。希望で馴染みの場所へのドライブも実施している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>穏やかな空間づくりを目指して、共通点のある話題作りをしたりし、利用者同士の関係性を把握するように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>家族からの相談は、随時対応出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族の意向へは傾聴した上で体調等把握しながら、希望に沿ったケアが出来るように努めている。	日常会話の中で本人の意向を把握できるように努めている。アセスメントや家族の情報を基に話しかけて、本人の要望等を引き出せるように工夫し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族・施設・病院・担当介護支援専門員からの情報は、職員間で共有するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の残存機能を把握しながら、支援している。バイタルチェック・食事量・排泄等の把握も解りやすいように工夫している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、必要な関係者と話し合いを実施。介護計画に対しモニタリングを実施している。その都度、サービスの継続・変更を行いケアに努めている。	担当者会議に家族、ケアマネージャー、担当職員、看護師等が参加して介護計画を作成している。モニタリングを3～6ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に見直ししており、状況変化時にも現状に即した計画になるようにしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>色んな意味での気づきを多く上げられるよう指導している。記録は、見やすい記録。申し送りを朝・夕と行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の現在の課題・問題点をその都度相談し、要望に添えるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍の為、地域行事への参加は困難であった。ドライブ企画、地域特産品の物を提供し、地域との関りを絶たないように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望医療機関との関係性を重視し、支援している。</p>	<p>契約時にかかりつけ医の希望を確認し、継続受診を支援している。2箇所の医療機関による月1～2回の訪問診療及び24時間の医療連携体制により適切な医療を受けられるよう支援している。他科受診は家族の協力も得ながら職員が対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は気付きや変化に関して、看護員へ伝えて相談し、かかりつけ医との連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携室との情報交換に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り介護に関する指針の説明をして、同意を頂いている。はまゆうで出来る事・出来ない事をしっかり説明するように努めている。	契約時に重度化等の場合の対応について選択肢も含めて説明し、同意書をもらっている。重度化等の場合、医師からの説明を家族と看護職員が聞き、その後看取り介護の説明を行って意向を確認し、同意書をもらっている。看取り期は家族の居室面会・泊りもでき、医師の協力も得て支援に取り組んでおり、見取り介護の実績がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	学習会等で学び、マニュアル化している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練を行っている。地域とはコロナ禍にて合同訓練は実施出来ていない為、情報共有に努めている。</p>	<p>年2回、夜間想定での避難訓練を実施し、1回は消防署の立ち合いを受けている。コロナ禍のため合同訓練は実施しておらず、訓練時の地域への声掛けもしていない。非常用の備蓄は、1～2日分の水・米・カップラーメン等の食料、カセットコンロを確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	学習会等で学び、接遇委員を中心に互いに声掛け合って、努めている。	年2回学習会を実施し、一定の距離感を持ち丁寧な言葉での対応に努めている。苗字にさん付けを基本に呼びかけ、入室時のノック、排泄介助時の声掛け等、誇りやプライバシーを損ねないように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	寄り添い・傾聴を基本とし、意思表示、決定が出来るように促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペース、生活リズムに合わせて尊重し、対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整髪・髭剃り・服選び（自力・介助）支援行っている。（訪問カット時には髪染め希望者には対応している）		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好を考慮し、食事提供を行っている。食事作りをされる方はいませんが、下ごしらえ、台拭き等一緒に行っている。	職員が献立を作成し、畑の野菜や差し入れも活用し、個々に応じた食事形態に調理し、利用者も一緒に下ごしらえ等をしている。誕生日の刺身、行事食、外食、庭での食事、保存食づくり等を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量はチェック表を活用して、解りやすくしている。月に一度の体重測定を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合わせたケアが出来るように行っており、全介助の方へは、ガーゼ使用し、舌苔予防を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的なトイレの声掛け、失禁・尿量・排便量を評価し、一人ひとりに合ったオムツ・リハビリパンツ・布パンツへの取り組みを行っている。	時間を見て声掛けし、日中はトイレまたはポータブルトイレでの排泄を支援しており、リハビリパンツから布パンツへの改善例もある。排泄用品は個々に合わせ経済面も考慮して検討し、適切なものを使用している。夜間のみポータブルトイレやオムツを使用する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、情報を共有し、便秘が続くようなら、水分を促したり、食事形態を気かけたりし、排便促しも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一番風呂・午前午後・曜日・体調に応じ一人ひとりの希望も考慮し支援している。	週2回午前中の入浴を基本に支援し、時間は希望等で柔軟に対応している。希望でのシャワー浴や体調による清拭、必要時の2人介助を実施し、入浴剤やボンタン湯も楽しんでいる。嫌がる場合は、タイミングを見て声掛けをしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	希望に応じ休んで頂き、不穏時心配な事がある方は傾聴し安心して頂いてから、休んで頂いている。生活習慣で寝巻の更衣の介助を行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更時は申し送りでも効能効果も周知している。配薬時は服薬されるまで見届けるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	野菜の下ごしらえ・テーブル拭き・お盆拭き・畑仕事・ドライブ・行事・誕生食等個々の希望に合わせて行ったり、参加頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍でも外出は一部緩和し、遠方先でお弁当を食べたり、近隣学校運動会の見学したり行っている。</p>	<p>その日の希望で近隣を散歩している。年間計画で季節の花見や中学校運動会見物に出掛け、外出先で食事もしている。家族との外出はまだできないが、希望で少人数のドライブに出かける計画である。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、お金を本人管理している方はいない。希望があれば、職員が買い物代行を行っている。家族へは、毎月出納表を送付している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人希望時に対応している。家族からの電話・ハガキ等都度対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者と一緒に、季節の飾りを作り、飾っている。居室の空調や加湿にも気を配っている。</p>	<p>ホールは空気清浄機や加湿器、エアコンで快適な生活環境が保たれ、窓を開けて換気も十分行っている。食堂とリビングのスペースがあり、感染予防のため間隔を開けてテーブルを配置し自席にはパーテーションを設置している。作品等で季節の飾りつけを行い、利用者がソファ等の好みの場所で過ごせるよう配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>会話の出来る空間、一人で過ごす空間等、思い思いの過ごし方を観察し本人の思いを大事にして見守っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物・思い入れのある物を持ち込むようお願いしている。ラジオやCDを聴いて過ごしたり、思い出の写真を見たり、位牌に毎日手を合わせ方もいる。</p>	<p>居室には、電動ベッドや洗面台・クローゼット・エアコン・寝具が備えてある。本人の好み等で使い慣れた寝具やラジオ・ダンス・テーブル・椅子・鏡を持ち込んだり、時計や位牌・写真・ぬいぐるみ等の身の回りの品で安心して過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>導線の確保やトイレ・居室等解りやすいように目印をしたり、工夫している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない